

手書きフォントについて

ここでいうフォントとは、パソコンやスマホなどで使用する一揃いの文字様式のことを指しますが、今回、「額」や「解説書」で用いたフォントは、上田勝則自身が自作したものを使用しました。

元になる文字を、一字一字手書きして作成したものです。

平成 26 年（2014 年）の冬仕事でした。

手書きした文字は、ひらがな、カタカナから始まり、記号や数字、そして漢字になります。

漢字は教育漢字、常用漢字、そして、JIS 規定の水準 2 まで手書きしました。手書きした文字数は、およそ 8000 文字です。

手書きしたものを、スキャナーで読み取りデータ化します。

手書きした原稿を添えています。

一部散逸してしまっていて、あと倍近くあったと記憶しています。